

平成 20 年度新農薬実用化試験で注目された 病害虫防除薬剤

(社)日本植物防疫協会調査企画部 ^{はやし}林 ^{なおと}直人・^{ぬまた}沼田 ^{きょうた}京太

はじめに

平成 20 年度の新農薬実用化試験については、10 月 16 日の茶農薬試験成績検討会を皮切りに、稲・野菜関係地域成績検討会、果樹等試験成績検討会、生物農薬試験成績検討会等順次開催され、依頼された薬剤の各種病害虫に対する効果や薬害、使用方法の検討が行われた。

ここでは、平成 20 年度に依頼された試験の中で、注目された薬剤並びにその傾向について紹介する。

I 新農薬実用化試験の動向

〔殺菌剤〕

本年度依頼された試験薬剤は 294 剤であった（生物農薬を含む）。これら薬剤についてそれぞれ複数の作物、病害に対して延べ 2,280 件の試験が実施された。成分が新規化合物単剤もしくは新規化合物同士の混合剤である製剤は 41 剤（13.9%）、新規化合物と既知化合物の混合剤は 4 剤（1.4%）であり、例年とほぼ同様の傾向であった（図-1）。

試験分野別に見ると、稲・麦関係では、昨年と比べ薬剤数、試験件数ともに増加し、497 件が実施された。このうち例年最も多いいもち病を対象とした試験が 290 件と過半数を占め、昨年と比べ 80 件ほど増加した。これは、フサライドの製造中止（後に登録譲渡）に伴う新混合製剤や、イソチアニルなどの新規製剤を含む育苗箱処理剤が多く依頼されたためである。

野菜関係は、昨年とほぼ同様の試験件数であった。ここ数年、幅広いスペクトルをもつ新規化合物の登場に伴い試験件数が増加してきたが、本年度は新規化合物製剤は少なく、既知化合物の混合剤や製剤変更した剤を中心に多くの作物・病害で試験が行われた。特に、いちご炭疽病の依頼が多く、このほかうどんこ病や灰色かび病などを対象に幅広く試験が行われた。

果樹関係は、落葉果樹、寒冷地果樹では昨年よりも件数が減少し、常緑果樹はほぼ平年並みとなった。茶の関

係では、昨年とほぼ同様の件数であったが、銅剤の依頼が多く赤焼病やもち病の試験が多かった。

芝草の試験数は昨年とほぼ同様であった。昨年より試験が開始されたネクロティックリングスポット病をはじめ、ペントグラスデッドスポット病の試験も本年度より開始された。

生物農薬では 16 剤、176 件の試験が実施された。ここ数年薬剤数は変わらないが試験件数は、増減を繰り返しており、本年度は昨年と比べ 2 倍となった。稲病害では本田でのいもち病・もみ枯細菌病を対象とした試験が新たに実施されたことや、野菜病害では、従来から依頼が多かった灰色かび病のほか、種々の病害に試験が行われ、従来よりも多種多様な作物病害に依頼が広がった。

〔殺虫剤〕

本年度依頼された薬剤数は 280 剤で、それぞれ複数の作物・害虫に対して延べ 3,156 件の試験が実施された。新規成分の単剤は 38 剤、新規成分と既知成分の混合剤は 13 剤であった（図-2）。

試験分野別に見ると、稲・麦関係は近年で最も依頼が多かった。ここ数年で新規の殺菌剤と殺虫剤が開発されており、それらと従来の薬剤の混合製剤が活発に開発されたこと、また本年度から登録申請するための成績は検討会の通過が必須となったことが主な要因と思われる。そのため主要害虫に対する試験が多く、近年あまり多くなかった斑点米カメムシ類が非常に多いのが目立った。製剤の種類としては近年の傾向として箱粒剤が多いが、

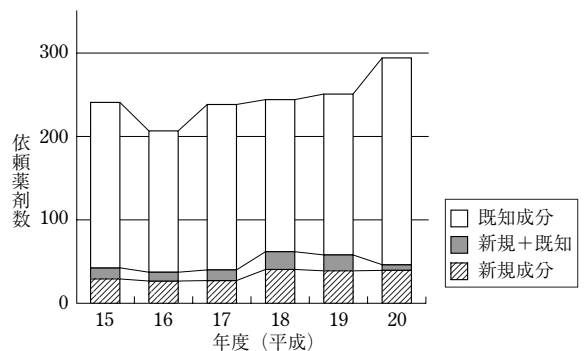


図-1 殺菌剤効果試験依頼薬剤数の推移

The Remarked Pesticides for the Efficacy Study in Japan (2008).

By Naoto HAYASHI and Kyota NUMATA

(キーワード：殺虫剤，殺菌剤，JPPA，新農薬実用化試験，平成 20 年度)

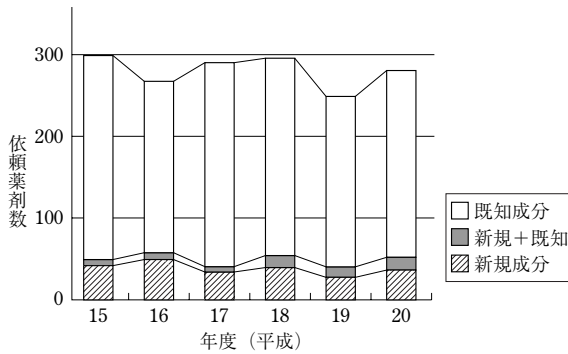


図-2 殺虫剤効果試験依頼薬剤数の推移

本年度は粉剤・液剤もかなりの依頼数があった。

野菜関係は、ここ数年で登場した新規化合物が単剤で、また既存剤との混合製剤としての開発が活発であったことから主要作物への依頼が多数行われた。近年液剤のセルトレイ灌注の開発が活発であるが、それに加えポット灌注や生育期の土壌灌注なども目立った。

果樹分野はいずれも試験依頼が少なかった。落葉果樹分野では、害虫のバリエーションは多岐にわたったが、個々の件数は少なく、ここ数年多かつたうめがかなり落ち着いた。寒冷地果樹分野では、シャクトリムシ類が多いもののその他の害虫は少なめで、こここのところ活発に試験されたおうとうも減少した。常緑果樹分野では、こここのところ試験が多かつたサビダニ類・チャノホコリダニが減少した。

茶分野では、毎年大概何かの害虫の依頼が多いものであるが、本年度はいずれも平均的な数となり結果として少なめの件数となった。

芝分野では、昨年度に引き続き依頼薬剤数も多くなく、少ない件数で推移した。

生物農薬分野では、生物種としては新たな展開はなかったが、出光興産の試験依頼が活発であった。全体としての試験依頼は近年で最も少なかった。

II 注目される新規化合物を含む薬剤 および新規生物製剤

〔殺菌剤〕

平成20年度に試験された、試験受託時に未登録の新規化合物を含む薬剤（生物農薬を含む）は45剤で、単剤は41剤、混合剤は4剤であった。このうち、本年度初めて依頼された成分は5剤であった（表-1）。

BCF-081粒剤（バイエル クロップサイエンス）は、稲紋枯病を対象に育苗箱処理剤として移植当日・播種時

表-1 平成20年度に初めて依頼のあった新規化合物（病害防除）

薬剤コード・成分	依頼作物・病害	備考
BCF-081 粒剤 2.0%	稲：紋枯病	育苗箱処理
BCF-082 フロアブル 240 g/l	ばれいしょ：黒あざ病	種芋消毒
IKF-309 SC 30%	小麦：うどんこ病，なす：うどんこ病，トマト：うどんこ病，きゅうり：うどんこ病，いちご：うどんこ病，なし：うどんこ病	6作物のうどんこ病を対象に試験実施
MZ-1 水溶液 100%	ピーマン：斑点病，イチゴ：炭疽病	植物抽出物
MZ-2 乳剤 9%	ピーマン：斑点病，イチゴ：炭疽病	植物抽出物

覆土前処理で試験された。BCF-082フロアブル（バイエル クロップサイエンス）は、ばれいしょ黒あざ病を対象に種いも消毒として浸漬・粉衣処理で試験された。IKF-309SC（石原産業）は、小麦・なす・トマト・きゅうり・いちご・おびなしのうどんこ病に試験され、いずれも高い防除効果が得られている。MZ-1水溶液・MZ-2乳剤（丸善製薬）は、植物抽出物を成分とする剤でピーマン斑点病・いちご炭疽病に依頼されている。

〔殺虫剤〕

平成20年度に試験された、依頼申請時に未登録の新規物を含む薬剤は51剤で、単剤は38剤、混合剤は13剤であった。これらのうち本年度初めて依頼のあった成分は6剤であった（表-2, 3）。

本年度初めて依頼のあった薬剤のうち、ANM-138フロアブル（日本化薬・明治製菓）は、速効性に優れる新規化合物で、野菜類のアザミウマ類と茶のチャノホソガに効果が得られていた。MAI-08015・08016粒剤（エス・ディー・エス バイオテック）はセンチュウ類に効果を示す新規化合物で、本年度はいも類・野菜類のネコブセンチュウに対して試験実施された。ME5343顆粒水和剤（明治製菓）はアブラムシ類に効果が高い新規化合物で、いも類・まめ類・野菜類・りんごで試験された。XI-0601～0801（デュボン）はツマグロヨコバイ・アブラムシ類・コナジラミ類・アザミウマ類・チョウ目・コウチュウ目・ハモグリバエ類と広範なスペクトルを有

表-2 平成 20 年度に初めて依頼のあった新規化合物 (害虫防除)

薬剤コード・成分	作物・病害虫	備考
ANM-138 フロアブル 10.0%	野菜類：アザミウマ類 茶：チャノホソガ	速効性に優れる
MAI-08015・08016 粒剤 1.5・1.0%	いも類・野菜類：ネコ ブセンチュウ類	
ME5343 顆粒水和剤 10.0%	いも類・豆類・野菜 類・りんご：アブラム シ類	
XI-0601OD XI-0603 箱粒剤 XI-0701SC XI-0801SE	水稻：ツマグロヨコバ イ・チョウ目・甲虫目 豆類・野菜類・果樹 類・茶：カメムシ目・ チョウ目・ハモグリバ エ類・アザミウマ類	灌注により浸透移 行性・長期残効性 を示す。致死に時 間を要する場合は あるが、摂食は停 止する
KUI-106 粒剤 1%	かんしょ：サツマイモ ネコブセンチュウ	ガス抜き不要の接 触型で、浸透移行 性を有し、地上部 害虫にも効果あり
NNI-0711 フロアブル 20%	茶・かんきつ・りん ご：ハダニ類	幼若虫・成虫に高 い効果

表-3 平成 20 年度に初めて依頼のあった生物農薬

薬剤コード	成分	作物・病害虫
(病害防除)		
該当なし		
(害虫防除)		
IK-3215 乳剤	新規糸状菌	いちご：ハスモ ンヨトウ
IK-1014 乳剤	新規糸状菌	いちご：ナミハ ダニ
IK-05	ヨトウタマゴバチ (<i>Trichogramma evanescens</i>)	果菜類：ハスモ ンヨトウ
IK-19	スワルスキーカブリダニ (<i>Amblyseius swirskii</i>)	果菜類：コナジ ラミ類・アザミ ウマ類

する新規化合物で、浸透移行性を有し、液剤の灌注では長期の残効性を示すとのことである。KUI-106 粒剤 (クミアイ化学工業) はガス抜き不要の接触型センチュウ剤で、かんしょのネコブセンチュウに高い効果を示し

た。地上部害虫にも効果があるとのことである。NNI-0711 フロアブル (日本農薬) はハダニ類の幼若虫・成虫に効果があるとのこと、茶・かんきつ・りんごのハダニ類に試験されて高い効果が認められた。

生物農薬では新規の種と考えられるものの新登場はなかったが、製剤として 4 剤が新規に依頼された。

III その他注目された事項

当協会では、農薬登録に必要な基本的な防除効果薬害試験を実施しているが、資材によっては普及場面での使用方法や体系防除における位置づけをより明確にする必要がある場合や、除効果や薬害についても使用方法や処理時期などによっては集中的に検討する必要があると考えられる農業資材等に対して、特別連絡試験を行っている。

今年度は殺菌剤関係で 2 課題、殺虫剤関係で 2 課題および微粒剤 F の特別連絡試験が組まれたことから以下に一部を紹介する。

(1) イソチアニル：稲いもち病防除に関する特別連絡試験 (バイエル クロップサイエンス(株)、住友化学(株))

イソチアニルは、バイエル クロップサイエンス(株)と住友化学(株)が共同開発を行っている抵抗性誘導剤である。既存の抵抗性誘導剤に比較し低薬量であり、同一製剤で育苗箱処理 (播種時～移植当日) と湛水処理 (移植直後～初発前) の両処理が可能となっている。新農薬実用化試験では、稲いもち病・ごま葉枯病菌による穂枯れ・白葉枯病などに試験が行われ、いずれも安定した防除効果が得られており、問題となる薬害もなく現在登録申請中である。

本連絡試験では、稲いもち病に対してイソチアニルの使用適期幅の広さを活かし、現場での普及を視野に入れた技術確立を目指すべく 2% 粒剤の育苗箱処理・3% 粒剤の水面施用処理について検討がなされた。全国 20 試験場が参加しており、今後も本剤の有効性と普及性を確認するため検討が行われる予定である。

(2) エコショット：なしの病害防除に関する特別連絡試験 (クミアイ化学工業(株))

エコショットは、細菌のパチルスズブチリスの生芽胞を有効成分とする微生物農薬で、なし病害には黒星病に 2,000 倍液散布で登録を持っている。

本連絡試験では昨年に引き続きなしの黒星病・心腐れ症を対象に、現在実施されている防除体系に本剤の導入が可能かどうか検討された。その結果、心腐れ症については、試験例が 2 例と少なく防除効果が明確とならなかったものの、黒星病については、開花期前後に DMI 剤

を散布し、その後の散布剤の一部をエコショットに代換えた場合、実用的な防除効果を示す結果が得られた。昨年は全国12試験場、本年度は4試験場で実施された。

(3) SYJ-198 箱粒剤 (デジタルメガフレア) 特別連絡試験 (シンジェンタジャパン(株))

本水稻用箱粒剤は殺菌剤ピロキロンと殺虫剤チアマトキサムの混合製剤であるが、従来の製剤より徐放性を改良し、斑点米カメムシ防除の時期においても効果を発現できるようにしたもので、平成20年10月22日付けで登録となっている。本特別連絡試験は上市を前にしてデータの蓄積と試験場関係者に本剤に対する理解を深めてもらうことを目的として、主な販売地域と考えられる東北6県7試験場で試験を実施した。斑点米カメムシ類に対する新しい防除技術として、いろいろな側面から利点・課題点が協議された。

(4) プレバソンフロアブル5特別連絡試験 (デュボン(株))

本剤は、クロラントラニリプロールを有効成分とする新規殺虫剤で、チョウ目害虫・ハモグリバエ類に対して卓効を示し、長期残効性・作物根からの吸収移行性・作物に対する高い安全性を特徴とすることから、セル成型育苗に対する灌注処理での試験を積み重ね、茎葉散布とあわせて現在登録申請中である。本特別連絡試験は本剤の長期残効性と安全性を活用し、キャベツ・レタスにおいて各地の害虫防除体系にプレバソンフロアブル5のセル苗灌注処理を組み込むことによって農業の使用回数や使用時期に与える影響を解析することにより、現行の防除体系から農業使用回数の削減を行うための有効性や問題点を把握することを目的とし、北海道から四国まで全国15試験場で実施された。結果はおおむね期待された効果が認められ、農業使用回数の削減が可能であることが示唆された。また異なった地域間での試験結果と活用方針を比較することができ、有意義なディスカッションが行われた。

(5) 水稻用微粒剤F特別連絡試験

微粒剤FはかつてDL粉剤と同時期に開発登録され、やがてその多くが失効したが、ポジティブリスト制の施行後、よりドリフトの少ない剤型が求められていることから、平成18年度より日植防・全農・農業会社・散布機具会社等の協力の下再開発に取り組み、できあがった製剤について昨年度から特別連絡試験として検討している。今年度は4製剤について圃場での試験を実施したが、おおむね十分な効果が認められた。また昨年度の結果を受けて登録取得されたサジェスト微粒剤Fについて各地で普及展示試験が生まれ、その結果も紹介された。

表-4 最近名称変更のあった主な薬剤

旧薬剤名	変更後名称	成分名・量
(病害防除)		
DKF-9610 顆粒水和剤	ALF-0712 顆粒水和剤	ピコキシストロピン 7.0%, キャプタン 50.0%
MTF-753 フロアブル	アフエツトフロアブル	ベンチオピラド 20.0%
MTF-753 顆粒水和剤	ガイア顆粒水和剤	ベンチオピラド 50.0%
NC-224 粉剤	オラクル粉剤	アミスルプロム 0.5%
KUF-1801 顆粒水和剤	ファンベル顆粒水和剤	ピリベンカルブ 10.0%, イミノクタジンアルベシル酸塩 15.0%
(害虫防除)		
S-1947G50 S-1947SC S-1947WDG	ディアナ箱粒剤 ディアナ SC ディアナ WDG	スピネトラム (ISO 申請中) 0.5%・12%・25%
TI-435 箱粒剤 08 ダントツ箱粒剤 08	ワンリード箱粒剤 08	クロチアニジン 0.8%
BCI-053 粒剤	アドマイヤー CR 箱粒剤	イミダクロプリド 1.95%
NNI-0001 フロアブル	スティンガーフロアブル (非食用分野)	フルベンジアミド 42.0%
NNI-0501 フロアブル	セルオーフロアブル	フルベンジアミド 4.0%, イミダクロプリド 2.0%
IKI-0012 乳剤	マハラジャ乳剤	アザジラクチン 1.2%
DAI-0602 顆粒水和剤	ワークワイド顆粒水和剤	イミダクロプリド 10.0%, スピノサド 10.0%
S-1276FL・フロアブル	ゴッツ A	ベシロマイセス テヌイベス
NK-103 水和剤	ハスモン天敵水和剤	核多核体ウイルス

IV 最近名称に変更があった薬剤

多くの薬剤は初めて委託に出される際にはコード番号などを薬剤名として使用しているが、登録に伴って商品名が命名される。また、商品名がつけられる前に何らかの事情で名称変更されることもあり、過去の試験と比較するとき、戸惑うこともある。そこで、最近名称に変

更があった薬剤の一覧表を作成した（表-4）。比較検討時の参考になれば幸甚である。

表-5 平成 20 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（病害防除：稲・麦）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稲	いもち病（葉、穂）	AF-0201 顆粒水和剤, AF-0204 粉剤 DL, AF-0205 粉剤 DL, AF-0206 粉剤 DL, BAC-0801 粒剤, BCM-071 粒剤, BCM-081 フロアブル, BCM-082 粉剤 DL, DMMH-01 粒剤, KYS-7001 フロアブル, NNF-0833 粉剤 DL, NNIF-0630 粒剤, NNIF-0751 粒剤, NNIF-0841 粉剤 DL, NNIF-0861 粒剤, アチーブモンカットスタークル F 粉剤 DL, アブライプリンス粒剤 10, ビルダープリンスチェス粒剤, ブイゲットスタークル粒剤, プラシダントツフロアブル, プラシンバリダダントツフロアブル, プラストップバリダダントツフロアブル, ルーチンバリアーダ箱粒剤	稲	変色米（カーブリア菌）	イモチエース粒剤
			もみ枯細菌病	ビルダープリンスアドマイヤー粒剤, ビルダープリンスチェス粒剤	
			白葉枯病	BCM-062 粒剤, MN-08 粒剤, NNIF-0751 粒剤, ビルダープリンスアドマイヤー粒剤, ビルダープリンスチェス粒剤, ブイゲットプリンスリンパー L 粒剤, ブイゲットプリンス粒剤 10, ルーチンアドマイヤー箱粒剤, ルーチン粒剤	
			苗立枯病（フザリウム菌）	SH-0602 液剤	
稲こうじ病	イモチエース粒剤				
紋枯病	BAC-0801 粒剤, BCM-071 粒剤, BCM-082 粉剤 DL, KYS-7001 フロアブル, NNIF-0841 粉剤 DL, アチーブモンカットスタークル F 粉剤 DL, イモチエーススタークル 1 キロ粒剤, プラシンバリダダントツフロアブル, プラストップバリダダントツフロアブル, プリンスオリゼメート嵐 5 粒剤	小麦	赤かび病	HOF-2071 フロアブル, NF-169 粉剤 DL	
		赤さび病	HOF-2071 フロアブル		
穂枯れ（ごま葉枯細菌）	イモチエース 1 キロ粒剤 10, イモチエーススタークル 1 キロ粒剤, イモチエースリンパー 1 キロ粒剤, プラシダントツフロアブル, プラシンバリダダントツフロアブル		黒変病	チルト乳剤 25	
			紅色雪腐病	フロンスайд SC, ヨネボン	
変色米（アルタナリア菌）	AF-0203 粉剤 DL, イモチエース粒剤		雪腐小粒菌核病	HOF-2071 フロアブル, フロンスайд SC	
			褐色雪腐病	ランマンフロアブル	
			雪腐大粒菌核病	バシタックベフランゾル	
			うどんこ病	HOF-2071 フロアブル, バンチョ顆粒水和剤, ペフトップジンフロアブル	

平成 20 年度は 116 薬剤 497 試験が実施された。昨年より薬剤数・試験数共に増加した。この表には挙げていないが既知化合物混合剤のいもち病に対する試験が多かった。AF-0201 顆粒水和剤は明治製菓(株)より依頼された新規化合物で治療効果があるとされる。白葉枯病は実施しにくい病害ではあるが、依頼会社の自主試験も多く実施された。

表-6 平成 20 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（病害防除：野菜・花き）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ばれいしょ	疫病	DKF-0113 ドライフロアブル, NC-231 顆粒水和剤, フロンスайд SC, ランマン 400SC, レーバスフロアブル	ばれいしょ	粉状そうか病	フロンスайд SC
				夏疫病	フロンスайд SC
				そうか病	シードラック水和剤, フロンスайд SC

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
やまのいも	葉渋病	ベンコゼブ水和剤	ピーマン	疫病	SYJ-184 粒剤, レーバスフロアブル
だいず	茎疫病	SYJ-204FS, ジャストフィットフロアブル	きゅうり	灰色かび病	アミスターオブティフロアブル
	紫斑病	撒粉ボルドー粉剤 DL		うどんこ病	シグナム WDG
あずき	灰色かび病	S-8585WP		べと病	NC-231 顆粒水和剤
	菌核病	S-8585WP, シルバキュアフロアブル, フロンサイド SC	灰色かび病	KUF-1802 顆粒水和剤, ファンベル顆粒水和剤	
	茎疫病	ジャストフィットフロアブル	褐斑病	シグナム WDG, フォリオゴールドフロアブル, フルビカフロアブル	
	炭疽病	S-8585WP	黒星病	リナセル顆粒水和剤	
いんげん	灰色かび病	BCF-061 フロアブル	炭疽病	シグナム WDG	
	菌核病	BCF-061 フロアブル	うどんこ病	OK-5203 乳剤 5, SB-3701, シグナム WDG, フォリオゴールドフロアブル	
いんげんまめ	灰色かび病	フロンサイド SC	メロン	つる枯病	アフエットフロアブル, シグナム WDG, フォリオゴールドフロアブル
	菌核病	シルバキュアフロアブル, フロンサイド SC		うどんこ病	OK-5203 乳剤 5, シグナム WDG
さやえんどう	うどんこ病	サブロール乳剤	すいか	褐色腐敗病	フォリオゴールドフロアブル, ベンコゼブ水和剤, ライメイフロアブル, レーバスフロアブル
てんさい	褐斑病	DKF-0113 ドライフロアブル		炭疽病	シグナム WDG, スコア顆粒水和剤, フォリオゴールドフロアブル
ホップ	べと病	SYJ-184 粒剤	かぼちゃ	つる枯病	アフエットフロアブル, シグナム WDG, フォリオゴールドフロアブル
こんにゃく	葉枯病	NT-8008・水和剤		うどんこ病	OK-5203 乳剤 5, シグナム WDG
なす	灰色かび病	KUF-1802 顆粒水和剤		べと病	ランマンフロアブル
	すすかび病	KUF-1802 顆粒水和剤, シグナム WDG, スコア顆粒水和剤, フォリオゴールドフロアブル	疫病	テーク水和剤, フォリオゴールドフロアブル, ベンコゼブ水和剤, ライメイフロアブル	
	うどんこ病	OK-5203 乳剤 5	うどんこ病	OK-5203 乳剤 5 アフエットフロアブル, シグナム WDG	
トマト	疫病	ALF-0711 顆粒水和剤, BAF-0701 フロアブル, KUF-1901 水和剤, NC-231 顆粒水和剤	だいこん	白さび病	ホライズンドライフロアブル
	灰色かび病	KUF-1802 顆粒水和剤, ダコニール 1000	かぶ	軟腐病	ヨネポン水和剤
	葉かび病	ALF-0711 顆粒水和剤, KPP-204 顆粒水和剤, KUF-1802 顆粒水和剤, ダイアメリット DF, フォリオゴールドフロアブル, リナセル顆粒水和剤	はくさい	軟腐病	DKF-0113 ドライフロアブル
	菌核病	S-2188 50DF, トップジン M 水和剤		白斑病	シグナム WDG
	すすかび病	Z ボルドー, ダコニール 1000, ファンベル顆粒水和剤, プリザード水和剤		根こぶ病	オラクル顆粒水和剤
	うどんこ病	パンチョ顆粒水和剤			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
キャベツ	黒腐病	DKF-0113 ドライフロアブル	アスパラガス	疫病	フォリオゴールドフロアブル
	根こぶ病	オラクル顆粒水和剤, ネビジン微粒剤, ランマンフロアブル		茎枯病	フロンサイド SC
カリフラワー	べと病	ランマンフロアブル	レタス	べと病	プレビクール N 液剤
	根こぶ病	フロンサイド SC	ごぼう	黒あざ病	モンガリット粒剤
ブロッコリー	べと病	フォリオゴールドフロアブル, ライメイフロアブル	にんじん	菌核病	アミスターオプティフロアブル
	根こぶ病	オラクル顆粒水和剤, ランマンフロアブル		黒葉枯病	DKF-0113 ドライフロアブル, シグナム WDG
のぎわな	白さび病	ホライズンドライフロアブル, ヨネポン水和剤	セルリー	斑点病	スコア顆粒水和剤
	みぶな	根こぶ病	しょうが	根茎腐敗病	SYJ-184 粒剤
たかな	白さび病	ホライズンドライフロアブル	葉しょうが	根茎腐敗病	SYJ-184 粒剤
	いちご	疫病	みょうが	根茎腐敗病	SYJ-184 粒剤
ねぎ	炭疽病	シグナム WDG	きく	立枯病	TMZ-9911 液剤
	うどんこ病	ALF-0711 顆粒水和剤, OK-5203 乳剤 5, S-2705 水和剤, シグナム WDG	ばら	うどんこ病	KUF-1802 顆粒水和剤, OK-5203 乳剤 5
たまねぎ	べと病	ALF-0711 顆粒水和剤, レーバフロアブル	トルコギキョウ	灰色かび病	アフエットフロアブル
	葉枯病	プロボーズ顆粒水和剤	アスター	萎凋病	クロルピクリン錠剤
	黒斑病	ALF-0711 顆粒水和剤, アフェットフロアブル	バンジー	灰色かび病	チオノックフロアブル
	さび病	ALF-0711 顆粒水和剤		根腐病	ベンレート水和剤
	白絹病	アフエットフロアブル	シクラメン	灰色かび病	アフエットフロアブル, チオノックフロアブル
たまねぎ	べと病	フロンサイド SC	プリムラ	灰色かび病	アミスター 20 フロアブル
	灰色腐敗病	フロンサイド SC	スターチス	灰色かび病	アフエットフロアブル
	灰色かび病 (白斑葉枯病)	ALF-0711 顆粒水和剤, アフェットフロアブル, フォリオゴールドフロアブル, プロボーズ顆粒水和剤	デルフィニウム	立枯病	SYJ-184 粒剤
	黒腐菌核病	バスアミド微粒剤	インパチェンス	立枯病	SYJ-184 粒剤
にんにく	葉枯病	アミスター 20 フロアブル	ベチュニア	うどんこ病	アンビルフロアブル
			しきみ	炭疽病	ダコニール 1000
			はなみずき	うどんこ病	サンヨール
			プリムラ	灰色かび病	セイビアーフロアブル 20

平成 20 年度依頼された薬剤数は 113 剤, 試験数は前年よりやや少ない 928 件であった。県からの要望がある地域の特産品に対して、試験場のご協力の下に積極的に試験が実施された例も見られた。

表-7 平成 20 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (病害防除: 果樹・茶・芝草)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なし	ごま色斑点病	パスポート顆粒水和剤	なし	黒星病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), BCF-061 フロアブル
	黒斑病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), BCF-061 フロアブル, ファンタジスタ顆粒水和剤		輪紋病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), ファンタジスタ顆粒水和剤

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なし	炭疽病	オキシラン水和剤	りんご	斑点落葉病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), NT-8024・水和剤, アリエッティ水和剤
もも	灰星病	オーシャインフロアブル		褐斑病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), アンビルフロアブル
	ホモブシス腐敗病	フリントフロアブル 25		輪紋病	BCF-062 水和剤
すもも	灰星病	BCF-061 フロアブル, アフェットフロアブル, ファンタジスタ顆粒水和剤, フリントフロアブル 25		すす点病・すす斑病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), MBF-051, アフェットフロアブル, アリエッティ水和剤, ベンレート水和剤
あんず	灰星病	ファンタジスタ顆粒水和剤, フリントフロアブル 25	おうとう	灰星病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), MAF-0801SC
うめ	黒星病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), ファンタジスタ顆粒水和剤		褐色せん孔病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), オンリーワンフロアブル, ファンタジスタ顆粒水和剤
	すす斑症	アフェットフロアブル, インダーフロアブル, オーシャイン水和剤, オンリーワンフロアブル		褐色せん孔病 (収穫後)	DKF-0113 ドライフロアブル
ぶどう	べと病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), BAF-0701 フロアブル, DKF-0113 ドライフロアブル, NF-163 顆粒水和剤, NT-8008・水和剤, フォリオゴールドフロアブル, リドミルゴールド MZ 顆粒水和剤		炭疽病	アミスター 10 フロアブル
	灰色かび病	BCF-061 フロアブル, アフェットフロアブル, インダーフロアブル	幼果菌核病	アフェットフロアブル, オーシャインフロアブル	
	褐斑病	ベンコゼブ水和剤	ハスカップ	灰色かび病	エコシヨット
	黒とう病	ファンタジスタ顆粒水和剤	かんきつ	かいよう病	NT-8008・水和剤, マイコシールド
	黒とう病 (休眠期)	フリントフロアブル 25, ヨネボン		灰色かび病	S-2188 50DF, アフェットフロアブル
	晩腐病	ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), アフェットフロアブル	茶	黒点病	ALF-0711 顆粒水和剤, ファンタジスタ顆粒水和剤
	かき	落葉病		ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), アフェットフロアブル, ファンタジスタ顆粒水和剤, ベンコゼブ水和剤	もち病
すす点病		オーソサイド水和剤 80, ストライド顆粒水和剤, ビオネクト		赤焼病	DKF-0113 ドライフロアブル, バクテサイド水和剤
炭疽病		インダーフロアブル, ファンタジスタ顆粒水和剤, リナセル顆粒水和剤	新梢枯死症	ファンタジスタ顆粒水和剤	
うどんこ病		ALF-0712 顆粒水和剤 (DKF-9610), ファンタジスタ顆粒水和剤	芝	かさ枯病	アグリマイシン-100
いちじく	疫病	ライメイフロアブル		葉腐病 (ブラウンパッチ)	SYJ-214WP
	りんご	赤星病		アフェットフロアブル, オンリーワンフロアブル	葉腐病 (ラージパッチ)
りんご	赤星病	アフェットフロアブル, オンリーワンフロアブル		さび病	ガイア顆粒水和剤
				炭疽病	BEF0006 フロアブル, BES0449 顆粒水和剤, NFK-071 顆粒水和剤, SYJ-214WP, クリアパッチ DF, ラリー水和剤
				立枯病 (ゾイシアデクライン)	SYJ-213 フロアブル

平成 20 年度に依頼された試験は落葉果樹 49 薬剤 267 試験, 寒冷地果樹 22 薬剤 109 試験, 常緑果樹で 15 薬剤 57 試験であった。茶の分野では 7 薬剤 25 試験, 芝草の分野では 24 薬剤 150 試験であった。いずれの試験区分でも昨年と同様の件数であった。

表-8 平成 20 年度新農業実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（病害防除：生物農薬）

作物名	病害虫名	薬剤名	有効成分	作物名	病害虫名	薬剤名	有効成分
稲	苗立枯病（リゾブス菌）	エコホープ DJ	トリコデルマ アトロピリア	トマト	葉かび病	NR-20 水和剤	パチルス ズブチリスの生芽胞
	いもち病（種子消毒）	KNB-S422 培土	糸状菌	いちご	灰色かび病	NR-20 水和剤	
トマト	葉かび病	KUF-1901 水和剤	<i>Bacillus subtilis</i> , 水酸化第二銅	ピーマン	うどんこ病	ボトキラー水和剤	パチルス ズブチリス芽胞
		OYK ファーミングブロック	パチルス ズブチリス類緑菌 OYK 菌	にら	白斑葉枯病	インプレッション水和剤	パチルス ズブチリス QST713 株
				食用ゆり	葉枯病	インプレッション水和剤	

平成 20 年度は 16 薬剤について 176 試験が実施された。試験薬剤数は前年並みだが、試験件数はおよそ 2 倍となった。タフブロックは種子重量の 4% 湿粉衣処理など処理方法が追加された。

表-9 平成 20 年度新農業実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（病害防除：家庭園芸）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なす	うどんこ病	KIF-21AL	ばら	うどんこ病	NR-25 スプレー, TGA-71 (エアゾル)
トマト	葉かび病	NR-25 スプレー	ペチュニア	うどんこ病	NR-25 スプレー
きゅうり	うどんこ病	KIF-21AL, NR-25 スプレー	プリムラ	灰色かび病	GL-39 (スプレー)
いちご	うどんこ病	KIF-21AL	ペゴニア	うどんこ病	GL-39 (スプレー), TGA-71 (エアゾル)
きく	褐斑病	NR-25 スプレー	さるすべり	うどんこ病	TGA-71 (エアゾル)
ばら	黒星病	NR-25 スプレー, TGA-71 (エアゾル)			

平成 20 年度は 5 薬剤の依頼があり 59 試験が実施された。病害の分野で初めて果樹（ぶどう）の試験が開始されるなど対象が広がってきている。

表-10 平成 20 年度新農業実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（害虫防除：稲・麦）

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
稲	ウンカ類	AF-0204 粉剤 DL, BAC-0801 粒剤, BCM-081 フロアブル, BCM-082 粉剤 DL, HOI-2073 粒剤, KYS-7001 フロアブル, NNIF-0841 粉剤 DL, アチーブモンカットスタークル F 粉剤 DL, ビルダープリンスチェス粒剤, ブイゲットプリンスリンバー L 粒剤, プラストップダントツ H 粉剤 DL, プラストップバリダダントツフロアブル, ルーチンアドマイヤー箱粒剤, ルーチンダントツ箱粒剤, ワンリード箱粒剤 08, KUI-307 豆つぶ, NNIF-0630 粒剤, アブロードスタークルゾル, コラトップダントツ 1 キロ粒剤	稲	ツマグロヨコバイ	AF-0205 粉剤 DL, AF-0206 粉剤 DL, BCM-081 フロアブル, BCM-082 粉剤 DL, DKI-0004 粒剤, HOI-2073 粒剤, KYS-7001 フロアブル, MN-08 粒剤, アチーブモンカットスタークル F 粉剤 DL, 嵐スタークル箱粒剤, ビルダープリンススタークル粒剤, プラストップダントツ H 粉剤 DL, プラストップバリダダントツフロアブル, モスピラン水溶剤, ルーチンアドマイヤー箱粒剤, KUI-307 豆つぶ, コラトップダントツ 1 キロ粒剤

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名	
稲	カメムシ類	AF-0206 粉剤 DL, BCI-074 粒剤, BCM-081 フロアブル, BCM-082 粉剤 DL, KYS-7001 フロアブル, NNIF-0841 粉剤 DL, SYJ-198 箱粒剤, アチーブモンカットスタークル F 粉剤 DL, プラストップダントツ H 粉剤 DL, プラストップバリダダントツフロアブル, アブロードスタークルゾル	稲	フタオビコヤガ	AF-0205 粉剤 DL, BCM-071 粒剤, DMH-2475 粒剤, HOI-2073 粒剤, NNIF-0841 粉剤 DL, ブイゲットプリンスバリアード L 粒剤, プラストップダントツ H 粉剤 DL, ルーチンダントツ箱粒剤, トレボンスターフロアブル, トレボンスター粉剤 DL	
	イネクロカメムシ	プリンス粒剤		イネドロオイムシ	BAC-0801 粒剤, BCM-071 粒剤, DKI-0004 粒剤, DMH-2475 粒剤, HOI-2073 粒剤, MN-08 粒剤, TM-0348 顆粒水和剤, 嵐スタークル箱粒剤, ブイゲットスタークル粒剤, プリンスオリゼメート嵐 5 粒剤, ルーチンアドマイヤー箱粒剤, ルーチンダントツ箱粒剤 08	
	イナゴ類	KYS-7001 フロアブル, プラストップバリダダントツフロアブル		イネミズゾウムシ	BAC-0801 粒剤, DKI-0004 粒剤, DMH-2475 粒剤, HOI-2073 粒剤, MN-08 粒剤, TM-0348 顆粒水和剤, アドマイヤー水和剤, 嵐スタークル箱粒剤, ビルダープリンスチェス粒剤, ブイゲットスタークル粒剤, ルーチンアドマイヤー箱粒剤, ルーチンダントツ箱粒剤, ルーチンダントツ箱粒剤 08	
	イネアザミウマ	BCM-062 粒剤		イネヒメハモグリバエ	BCM-062 粒剤, ルーチンアドマイヤー箱粒剤	
	ニカメイチュウ	BAC-0801 粒剤, BCM-062 粒剤, HOI-2073 粒剤, アブロードバダンモンカット粒剤, ダントツ粒剤, ブイゲットプリンスリンパー L 粒剤, ルーチンダントツ箱粒剤		小麦	アブラムシ類	モスピラン水溶剤
	コブノメイガ	AF-0206 粉剤 DL, BCM-081 フロアブル, BCM-082 粉剤 DL, NNIF-0841 粉剤 DL, アミスターアチーブトレボン粉剤 DL, ビルダープリンスチェス粒剤		トビムシ (忌避)	キヒゲン R-2 フロアブル	
	イネツトムシ	BAC-0801 粒剤, BCM-082 粉剤 DL, ディアナ箱粒剤, ビルダープリンスアドマイヤー粒剤, ビルダープリンスグレートム粒剤, プラストップダントツ H 粉剤 DL, ハスラー H 粉剤 DL				

平成平成 20 年度は稲・麦用に 85 剤, 延べ 738 件の試験が受託された。新規化合物で本年度初めて申請に足る試験数が得られた剤はなかった。箱粒剤の混合製剤が多いのは近年の強い傾向であるが, 今年度は粉剤とフロアブル剤が目立つのも特徴である。対照としては主要害虫が中心となり, 特に近年やや少なめだったカメムシ類が非常に多い。

表-11 平成 20 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (害虫防除: 野菜・花き)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ばれいしょ	アブラムシ類	BASF ベイオフ ME 液剤, BCI-071 フロアブル, ウララ DF, モスピラン SL 液剤	かんしょ	ハスモンヨトウ	DKI-0001 フロアブル, MA-001SC, アクセルフロアブル, サブリナフロアブル, フェルコンフロアブル
	ハスモンヨトウ	サブリナフロアブル, マッチ乳剤		ネコブセンチュウ	F6502 粒剤, ネマキック粒剤
	ナストビハムシ	アクタラ顆粒水溶剤	さといも	ハスモンヨトウ	サブリナフロアブル
	バレイシヨシストセンチュウ	ネマキック粒剤		ネグサレセンチュウ	F6502 粒剤
かんしょ	アブラムシ類	モスピラン水溶剤	やまのいも	アブラムシ類	アクタラ粒剤 5
	ナカジロシタバ	ダイアジノン粒剤 10		ジャカイモヒゲナガアブラムシ	オルトラン水和剤

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
やまのいも	ナガイモコガ	ハチハチ乳剤, フェニックス顆粒水和剤	なす	ハモグリバエ類	AKD-1162 乳剤, ディアナ SC (S-1947S)
	ハスモンヨトウ	マトリックフロアブル		ハダニ類	BCI-071 フロアブル
だいず	アブラムシ類	サイハロン乳剤, ダントツ粒剤, テルスター水和剤		トマト	チャノホコリダニ
	カメムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	アブラムシ類		ダントツ粒剤, マブリックジェット
	ウコンノメイガ	トレボン乳剤	ワタアブラムシ		オンコル粒剤 5
	ネキリムシ類	SYJ-204FS, ガードベイト A	コナジラミ類		BCI-071 フロアブル, MTI-446 粒剤 1, RM1963K 乳剤, AKD-1162 乳剤
	ハスモンヨトウ	アクセルフロアブル	ミカンキイロアザミウマ		ウララ DF, クリアオール水和剤
	フタスジヒメハムシ	MTI-446 粒剤 1			
あずき	マメアブラムシ	ME5343 顆粒水和剤	ピーマン	アブラムシ類	ウララ DF, クリアオール水和剤
	アブラムシ類	モスピラン SL 液剤		コナジラミ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒), アプロードエースフロアブル, クリアオール水和剤, ベストガード水溶剤
いんげん	アブラムシ類	MTI-446 粒剤 1, サイハロン乳剤, MTI-446 水溶剤 (顆粒), モスピラン SL 液剤		アザミウマ類	BCI-071 フロアブル, ハチハチ乳剤
	アブラムシ類	ランネット 45DF		ハダニ類	SYJ-159 乳剤
	シロイチモジヨトウ	フェニックス顆粒水和剤		チャノホコリダニ	アニキ乳剤, アプロードエースフロアブル, クリアオール水和剤, ハチハチ乳剤
	ハスモンヨトウ	DKI-0001 フロアブル		ネコブセンチュウ	IKI-1145SL
	ナモグリバエ	AKD-1162 乳剤			
えんどう	アブラムシ類	ランネット 45DF	ししとう	チャノホコリダニ	RM1963K 乳剤
	シロイチモジヨトウ	フェニックス顆粒水和剤	漬物用うり類	アブラムシ類	アクタラ粒剤 5, チェス顆粒水和剤
あわ	アワノメイガ	マハラジャ乳剤	きゅうり	アブラムシ類	ダントツ粒剤
	アワノメイガ	マハラジャ乳剤		ワタアブラムシ	マハラジャ乳剤
	アワノメイガ	マハラジャ乳剤		コナジラミ類	MA-001SC, コルト顆粒水和剤
	アワノメイガ	マハラジャ乳剤		ミナミキイロアザミウマ	MA-001SC, NI-31 粒剤
とうもろこし	アブラムシ類	BASF ベイオフ ME 液剤		ウリノメイガ	DKI-0001 フロアブル
	アワノメイガ	カスケード乳剤, フェニックス顆粒水和剤		ハモグリバエ類	AKD-1162 乳剤
てんさい	テンサイモグリハナバエ	MTI-446 水溶剤 (顆粒)	ハダニ類	BCI-071 フロアブル	
	ハダニ類	ダニサラバフロアブル	ネコブセンチュウ	IKI-1145SL, F6502 粒剤	
ホップ	ハダニ類	アカリタッチ乳剤	メロン	アブラムシ類	ダントツ粒剤
さとうきび	カンシャシンクイハマキ	プリンスベイト	コナジラミ類	BCI-071 フロアブル, MTI-446 粒剤 1	
	ハリガネムシ類	トレボン粒剤, BAI-0806 粒剤	ミナミキイロアザミウマ	アドマイヤーフロアブル	
なす	アブラムシ類	BCI-071 フロアブル, ダントツ粒剤			
	コナジラミ類	MTI-446 粒剤 1, エコビタ液剤			
	アザミウマ類	ディアナ SC, フィトンプラス KS-4 (乳剤), ディアナ SC (S-1947S)			
	ミナミキイロアザミウマ	NI-31 粒剤			

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名	
すいか	アザミウマ類	BCI-071フロアブル	キャベツ	オオタバコガ	CJ1601 顆粒水和剤, NNI-0750 フロアブル	
かぼちゃ	アブラムシ類	NI-31 粒剤, ダントツ粒剤, モ スピラン粒剤		ナメクジ類	Bug-N-Sluggo 粒剤	
	コナジラミ類	MTI-446 粒剤 1	カリフラ ワー	アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤, ダントツ水 溶剤	
ズッキー ニ	アブラムシ類	アクタラ粒剤 5, チェス顆粒水和 剤		コナガ	アクタラ粒剤 5, ダントツ水溶剤	
だいこん	コナガ	NK-0503 水和剤		ハイマダラノメイガ	フェニックス顆粒水和剤	
	ハイマダラノメイガ	MA-001SC, ファルコンフロア ブル		アオムシ	ダントツ水溶剤	
	アオムシ	ファルコンフロアブル		ネキリムシ	ダイアジノン粒剤 5	
	ヨトウムシ	ファルコンフロアブル	ヨトウムシ	フェニックス顆粒水和剤		
	キスジノミハムシ	MTI-446 水溶剤 (顆粒), MTI- 446 粒剤 1	ブロッコ リー	アブラムシ類	NI-31 粒剤, SYJ-210 フロアブ ル, セルオーフロアブル	
かぶ	コナガ	フェニックス顆粒水和剤		コナガ	SYJ-210 フロアブル, アクタラ 粒剤 5, セルオーフロアブル, ハ チハチフロアブル	
	ネコブセンチュウ	IKI-1145 粒剤 1.5		ハイマダラノメイガ	ダントツ粒剤	
はくさい	アブラムシ類	NI-31 粒剤, SYJ-210 フロアブ ル		アオムシ	SYJ-210 フロアブル	
	コナガ	SYJ-210 フロアブル		ネキリムシ	ダイアジノン粒剤 5	
	ハイマダラノメイガ	SYJ-210 フロアブル		ヨトウムシ	NNI-0750 フロアブル	
	ヨトウムシ	NNI-0750 フロアブル, SYJ-210 フロアブル		ハスモンヨトウ	SYJ-210 フロアブル	
	ハスモンヨトウ	SYJ-210 フロアブル		チンゲン サイ	アブラムシ類	オルトラン粒剤
	ナメクジ類	ラービンバイト 2			ナモグリバエ	ダントツ水溶剤
	ネコブセンチュウ	IKI-1145 粒剤 1.5		こまつな	アブラムシ類	バリアード顆粒水和剤
	キャベツ	アブラムシ類	NI-31 粒剤, SYJ-210 フロアブ ル	のざわな	コナガ	アニキ乳剤
		ネギアザミウマ	SYJ-210 フロアブル		ネキリムシ	ダイアジノン粒剤 5
コナガ		SYJ-210 フロアブル	ハモグリバエ類		アニキ乳剤	
ハイマダラノメイガ		ジェイエース粒剤, セルオーフロ アブル, バダン SG 水溶剤, プリ ンス粒剤	みずな	アブラムシ類	ジェイエース粒剤	
アオムシ		SYJ-210 フロアブル		コナガ	DKI-0001 フロアブル	
ウワバ類		DKI-0001 フロアブル		ネキリムシ	ダイアジノン粒剤 5	
タマナギンウワバ		NNI-0750 フロアブル	たかな	アブラムシ類	アドマイヤーフロアブル	
ヨトウムシ		NNI-0750 フロアブル, SYJ-210 フロアブル, DAI-0601 フロアブ ル	なばな	コナガ	フェニックス顆粒水和剤	
ハスモンヨトウ		CJ1601 顆粒水和剤, NNI-0750 フロアブル, SYJ-210 フロアブ ル, アクセルフロアブル	いちご	アブラムシ類	NI-31 粒剤, ウララ粒剤	
				オンシツコナジラミ	ウララ DF	
				ミカンキイロアザミ ウマ	クリアオール水和剤, コテツフロ アブル	
				チビクロバネキノコ バエ	MTI-446 水溶剤 (顆粒), ベス トガード水溶剤	
			ハダニ類	エコビタ液剤, ポリオキシシ AL 水溶剤, IKI-1145SL		

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
ねぎ	ネギアザミウマ	MA-001SC, NNI-0750 フロアブル, アドマイヤーフロアブル, サイハロン乳剤, ランネット 45DF, ベストガード水溶剤	ほうれんそう	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤, ダントツ水溶剤
	ネギコガ	NNI-0750 フロアブル		アシゲロハモグリバエ	カスケード乳剤
	シロイチモジヨトウ	NNI-0750 フロアブル, サブリナフロアブル		タネバエ	ダイアジノン粒剤 10
	ネギハモグリバエ	NK-0503 水和剤, ベストガード水溶剤, BAI-043 乳剤		ケナガコナダニ	BAI-043 乳剤
たまねぎ	ネギアザミウマ	MTI-446 水溶剤 (顆粒), プレオフロアブル	おくら	アブラムシ類	チェス顆粒水和剤
	アスパラガス	アブラムシ類	しょうが	アワノメイガ	アクセルフロアブル
アスパラガス	コナジラミ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)	れんこん	アブラムシ類	アドマイヤー 1 粒剤
	ハスモンヨトウ	DKI-0001 フロアブル, アニキ乳剤	きく	アザミウマ類	ダントツ水溶剤
	ジュウシホシクビナガハムシ	NNI-0750 フロアブル, ハチハチフロアブル		ミナミキイロアザミウマ	カウンター乳剤
	ナメクジ類	ランネット 45DF		ハダニ類	コロマイト乳剤
	レタス	アブラムシ類		SYJ-210 フロアブル, セルオーフロアブル	ばら
カブラヤガ		SYJ-210 フロアブル, セルオーフロアブル	ナミハダニ	RM1963K 乳剤, エコビタ液剤	
ウワバ類		フェニックス顆粒水和剤	ハダニ類	ポリオキシシン AL 水溶剤	
ヨトウムシ		DKI-0001 フロアブル, NNI-0750 フロアブル, SYJ-210 フロアブル, フェニックス顆粒水和剤, マハラジャ乳剤	カーネーション	アブラムシ類	サンヨール
ハスモンヨトウ		NNI-0750 フロアブル, SYJ-210 フロアブル	アザミウマ類	オンコルスタークル粒剤	
オオタバコガ		NNI-0750 フロアブル, SYJ-210 フロアブル, セルオーフロアブル	チューリップ	アブラムシ類	ウララ 50DF
ナモグリバエ		スピノエース顆粒水和剤, SYJ-210 フロアブル, マハラジャ乳剤	りんどう	リンドウホソハマキ	ダーズバン DF
しゅんぎく		アブラムシ類	アディオソ乳剤	ハダニ類	スターマイトフロアブル
	ハモグリバエ類	MTI-446 粒剤 1	ガーベラ	オンシツコナジラミ	MTI-446 水溶剤 (顆粒), MTI-446 粒剤 1
	ネコブセンチュウ	IKI-1145 粒剤 1.5	ハモグリバエ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)	
にんじん	アブラムシ類	モスピラン水溶剤, ゲットアウト WDG	ひまわり	コナジラミ類	MTI-446 粒剤 1
	ヨトウムシ	BASF ベイオフ ME 液剤, アグロスリン乳剤, カスケード乳剤	マリーゴールド	ナメクジ類	ラービンベイト 2
セルリー	アブラムシ類	ダントツ粒剤	サルビア	ナメクジ類	ラービンベイト 2
	ナメクジ類	ラービンベイト 2	ベチュニア	ハモグリバエ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
食用さくら (葉)	さくら	モンクロシャチホコ	マメハモグリバエ	トリガード液剤	
			ナメクジ類	ラービンベイト 2	
食用さくら (葉)	さくら	モンクロシャチホコ	コスカシバ	スカシバコン L	
			アザミウマ類	アクセルフロアブル, スティンガーフロアブル	

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
さくら	アメリカシロヒトリ	MTI-446 水溶剤 (顆粒), アクセルフロアブル, スティンガーフロアブル, トレボン MC	プラタナス	プラタナスグンバイ	アトラック液剤, オルトランカプセル, マツグリーン液剤 2
つばき	ケムシ類	アクセルフロアブル, スティンガーフロアブル		ケムシ類	アクセルフロアブル, スティンガーフロアブル
さざんか	アブラムシ類	サンヨール (乳剤)		アメリカシロヒトリ	MTI-446 水溶剤 (顆粒), トレボン MC
	チャドクガ	トレボン MC			

平成 20 年度の依頼は 139 剤, 延べ 1,678 件の試験が実施された。新規化合物で本年度初めて申請に足る試験数が得られた剤は BCI-071 フロアブル (スピロテトラマト: バイエル クロップサイエンス) であった。マイナー作物はひとりに比べて減少したが, えんどうの各種害虫, あわ・ひえのアワノメイガ, ししとうのホコリダニ, ズッキーニのアブラムシ類, パセリのセンチュウ, オクラのアブラムシ類, アスパラガスの各種害虫などの試験が進んだ。

表-12 平成 20 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤 (害虫防除: 果樹・茶・芝草)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
なし	コナカイガラムシ類	アタックオイル	ぶどう	カメムシ類	MTI-446 水溶剤 (顆粒)
	カメムシ類	イカズチ WDG		チャノキイロアザミウマ	ディアナ WDG
	チャノキイロアザミウマ	ハチハチフロアブル		チャノココクモンハマキ	DKI-0002 フロアブル
	ケムシ類	ファイブスター顆粒水和剤		ハスモンヨトウ	アタブロン SC
	ハマキムシ類	CJI601 顆粒水和剤		ハダニ類	ダニゲッターフロアブル
	リングコカクモンハマキ	ファイブスター顆粒水和剤		ナメクジ類	ラービンベイト 2
	シンクイムシ類	イカズチ WDG		かき	カメムシ類
	ナメクジ類	ラービンベイト 2	チャノキイロアザミウマ		バリアード顆粒水和剤
もも	カイガラムシ類	ダーズバン DF	かき	カキクダアザミウマ	バリアード顆粒水和剤
	ケムシ類	フェニックス顆粒水和剤		ヒロヘリアオイラガ	DKI-0002 フロアブル
	シンクイムシ類	ディアナ WDG		イラガ類	フェニックス顆粒水和剤
	モモシンクイガ	コンフューザー MM		ハダニ類	オサダンフロアブル
すもも	アブラムシ類	アドマイヤーフロアブル, コルト顆粒水和剤	かき	カキサビダニ	ピラニカ水和剤
	ケムシ類	カスケード乳剤, フェニックス顆粒水和剤		いちじく	カンザワハダニ
	スモモヒメシンクイ	ナシヒメコン	ナメクジ類		ラービンベイト 2
うめ	カイガラムシ類	アタックオイル	りんご	アブラムシ類	イカズチ WDG
	ウメシロカイガラムシ	ハーベストオイル		リンゴワタムシ	スプラサイド水和剤
	カメムシ類	テルスターフロアブル		クワコナカイガラムシ	オリオン水和剤 40
	ハダニ類	カネマイトフロアブル		ケムシ類	モスビラン水溶剤
	オウトウ・カンザワハダニ	コテツフロアブル		ハマキムシ類	イカズチ WDG

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
りんご	ミダレカクモンハマキ	コンフューザー AA	かんきつ	チャノホコリダニ	兼商モレスタン水和剤, スターマイトフロアブル
	キンモンソソガ	MA-001SC, イカズチ WDG		カタツムリ類	IC ボルドー 66D・水和剤
	ヨモギエダシャク	ノーモルト乳剤, アタブロン SC, チューンアップ顆粒水和剤, テルスターフロアブル	びわ	カイガラムシ類	アタックオイル
おうとう	野そ	フジワン粒剤		ナシマルカイガラ	ハーベストオイル
			ハダニ類	アタックオイル, ダニサラバフロアブル	
ブルーベリー	ケムシ類	ダントツ水溶剤	キウイフルーツ	キウイヒメヨコバイ	モスピラン水溶剤
かんきつ	アブラムシ類	アクタラ顆粒水溶剤	マンゴー	チャノキイロアザミウマ	トレボン乳剤
	カイガラムシ類	ダーズバン DF		茶	コミカンアブラムシ
	アカマルカイガラムシ	アタックオイル	クワシロカイガラムシ		ボタニガード ES
	ミカンコナジラミ	ダントツ水溶剤, ハチハチフロアブル	ミカントゲコナジラミ		コルト顆粒水和剤, ダントツ水溶剤
	ミカンキジラミ	ハチハチフロアブル, ダニエモンフロアブル	チャノコカクモンハマキ		SYJ-159 乳剤
	チャノキイロアザミウマ	カスケード乳剤, アークリン水和剤, ウララ 50DF, テルスターフロアブル	チャハマキ		DKI-0002 フロアブル
	チャノコカクモンハマキ	アークリン水和剤	チャノソソガ		MA-001SC
	アゲハ類	チューンアップ顆粒水和剤, フェニックス顆粒水和剤	カンザワハダニ		SYJ-159 乳剤, スパイカル
	ヨモギエダシャク	マッチ乳剤	チャノホコリダニ		ダニゲッターフロアブル, スターマイトフロアブル, マジスターフロアブル
	ゴマダラカミキリ	アクタラ顆粒水溶剤	芝		シバツトガ
ミカンバエ	モスピラン水溶剤	スジキリヨトウ			MBCI-071 フロアブル

平成 20 年度の落葉果樹分野では 41 薬剤が依頼され、延べ 176 件の試験が受託された。寒冷地果樹分野では 26 剤が依頼、延べ 104 件が受託、常緑果樹分野では 34 薬剤が依頼、延べ 107 件が受託、茶分野では 25 薬剤が依頼、延べ 81 件が受託、芝草分野では 6 剤が依頼、延べ 34 件が受託された。

表-13 平成 20 年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤（害虫防除：生物農薬）

作物名	病害虫名	薬剤名	有効成分	作物名	病害虫名	薬剤名	有効成分
なす	コナジラミ類	ALE-0751	クロヒョウタンカスミカメ	アスパラガス	ハスモンヨトウ	ハスモン天敵水和剤	ハスモンヨトウ核多角体病ウイルス
キャベツ	アオムシ	ボタニガード ES	<i>Beauveria bassiana</i>	レタス	オオタバコガ	ボタニガード ES	<i>Beauveria bassiana</i>
いちご	ハスモンヨトウ	IG-104 水和剤	ハスモンヨトウ核多角体病ウイルス	ガーベラ	ハダニ類	スパイカル	ミヤコカブリダニ

平成 20 年度の生物農薬連絡試験では、14 薬剤が依頼され、延べ 65 件の試験が受託された。本年度初めて申請に足る試験数が得られた生物種は、ALE-0751（クロヒョウタンカスミカメ）が挙げられる。

表-14 平成20年度新農薬実用化試験で十分な試験が実施された主な薬剤(害虫防除:家庭園芸)

作物名	病害虫名	薬剤名	作物名	病害虫名	薬剤名
だいず	アブラムシ類	SYJ-179 スプレー	カーネーション	ハダニ類	NR-25 スプレー
なす	アブラムシ類	NR-25 スプレー, GL-39 (スプレー)	つつじ類	ツツジゲンバイ	TGA-71 (エアゾル), TGA-72 (エアゾル), ELCB-51AL 剤, SYJ-181 スプレー
	ハモグリバエ類	SYJ-179 スプレー			
	ハダニ類	NR-25 スプレー	デージー	アブラムシ類	GL-42 (液剤)
トマト	アブラムシ類	NR-25 スプレー, SYJ-177 顆粒水溶剤	サルビア	アブラムシ類	TGA-71 (エアゾル), SYJ-215 粒剤
きゅうり	アブラムシ類	NR-25 スプレー	パチュニア	アブラムシ類	NR-25 スプレー
	ハダニ類	NR-25 スプレー, ダブルプレー AL	さくら	モンクロシャチホコ	TGA-71 (エアゾル), TGA-72 (エアゾル), GL-42 (液剤)
いちご	アブラムシ類	ダブルプレー AL		アメリカシロヒトリ	TGA-71 (エアゾル), TGA-72 (エアゾル), GL-42 (液剤)
きく	アブラムシ類	NR-25 スプレー, TGA-71 (エアゾル), TGA-72 (エアゾル), SYJ-215 粒剤, GL-42 (液剤)	つばき類	ツノロウムシ	ベニカグリーンV スプレー
	ハダニ類	NR-25 スプレー		チャドクガ	TGA-71 (エアゾル), TGA-72 (エアゾル), ELCB-51AL 剤, SYJ-181 スプレー, GL-42 (液剤)
ばら	アブラムシ類	NR-25 スプレー, TGA-71 (エアゾル), TGA-72 (エアゾル), SYJ-215 粒剤, GL-42 (液剤), SYJ-177 顆粒水溶剤	さざんか	チャドクガ	GL-39 (スプレー)
	ハバチ類	TGA-71 (エアゾル), TGA-72 (エアゾル), GL-42 (液剤)	まさき	ミノウスバ	TGA-72 (エアゾル)
	ハダニ類	NR-25 スプレー	くちなし	オオスカシバ	TGA-72 (エアゾル)
			さんごじゅ	サンゴジュハムシ	TGA-72 (エアゾル)
			レモン	ハダニ類	カダンセーフ
			芝	シバツトガ	GL-42 (液剤)

平成20年度の家庭園芸分野では14薬剤が依頼され、延べ153件の試験が受託された。

登録が失効した農薬 (21.1.1 ~ 1.31)

掲載は、種類名、登録番号：商品名(製造者又は輸入者)登録失効年月日。

「殺虫剤」

09/01/13

●ダイアジノン粒剤

12684：三共ダイアジノン粒剤5(三共アグロ)09/01/31

●アセフェート・XMC水和剤

20318：ホクコーオルトランマク水和剤(北興化学工業)

「殺菌剤」

●カスガマイシン・フサライド水和剤

12639：呉羽カスラサイド水和剤(クレハ)09/01/11